

確かな技術と経験が可能にする「一人の心に寄り添う介護」

第2回神奈川県高校生介護技術コンテスト開催

去る7月28日、第2回神奈川県高校生介護技術コンテストが田園調布学園大学(川崎市麻生区)で開催されました。

県内で福祉・介護を学ぶ高校生が介護技術を競い、生徒同士の交流を深めながら、専門職として求められる知識や、態度を高めることを目的に昨年度から始まったこの取り組み。神奈川県高等学校教科研究会福祉部会を中心とした実行委員会の主催で、市立川崎高等学校、県立鶴見総合高等学校、二俣川看護福祉高等学校、津久井高等学校の4校が出場しました。

競技はベッドメイキング部門と介護技術部門に分かれて実施。時間内に正しい手順で、きれいで張りのあるベッドメイキングが出来たか、事前課題形式で行われた介護技術部門では、課題に対する各校の分析に基づいた介護技術と、その方法を選んだ理由などを説明するアピールにより総合的に審査されました。



ベッドメイキングを行う二俣川看護福祉高等学校の生徒



津久井高等学校の介護技術。出場した2人は昨年も出場し、2年連続の最優秀賞を受賞した



優勝旗を授与した鈴木さんと昨年の優勝校の生徒(①)、たぎがしら芭蕉苑の介護スタッフによる実演の様子(②)

生徒や教職員、保護者らが見守る中、各校とも日々の研さんが伺える介護技術を披露。審査の結果、ベッドメイキング部門は二俣川看護福祉高等学校、介護技術部門は津久井高等学校が最優秀賞を受賞しました。両校とも前回大会に続く連覇で、介護技術部門で最優秀賞校となった津久井高等学校は、9月に開催される関東地区コンテストへの出場権を獲得しました。

今大会では、介護現場の最前線からも介護・福祉を学ぶ高校生を応援するため、本会老人福祉施設

協議会から優勝旗が贈呈されました。特別養護老人ホーム天王森の郷(横浜市泉区)施設長で同協議会会長の鈴木啓正さんは「確かな技術に加えて、真心が相手に伝わって初めて介護になる。その視点を大切にして取り組んでほしい」と生徒を激励。たぎがしら芭蕉苑(横浜市磯子区)の介護スタッフによるレクリエーションの実演も行われ、生徒たちも一緒になってプロの実践を体験しました。

「技術だけではなく、相手の心に寄り添い、相手が何を求めているのかを熟考して介護へ反映した結果」と津久井高等学校教諭・福祉科学科長の林睦さんは2年連続となった受賞を振り返ります。関東地区コンテストでのさらなる飛躍に期待がかかる同校ですが、介護技術部門に出場した生徒は3年生。コンテストの先には、進路の決定と、卒業後の次のステージが待っています。

生徒たちが介護・福祉のプロとなるとき、福祉科で過ごした高校生活とコンテストの経験は、いつでも思い返すことのできる自信の拠り所として、かけがえのない財産となるに違いありません。

(企画調整・情報提供担当)

借金・離婚・相続・労働問題・犯罪被害...

**こんなとき、まずは法テラスへ**

よかった、電話して。法テラスに。

日本司法支援センター

**法テラス**

法的トラブルは、適切な機関や専門家に相談するのが解決への近道。まずはお気軽に法テラスへお電話ください。内容に応じて、ご利用いただける法律制度や相談窓口をご案内します。

法テラス・サポートダイヤル

**0570-078374**

【夜間・土曜日もどうぞ】(平日 9:00~21:00 犯罪被害者支援ダイヤル 0570-079714 通話料のみでご利用いただけます。)

**法テラス神奈川**

☎050-3383-5360

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル10階

**法テラス川崎**

☎050-3383-5366

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-1 パシフィックマークス川崎ビル10階

**法テラス小田原**

☎050-3383-5370

〒250-0012 小田原市本町1-4-7 朝日生命小田原ビル5階

受付時間【共通】 平日9:00~17:00

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています